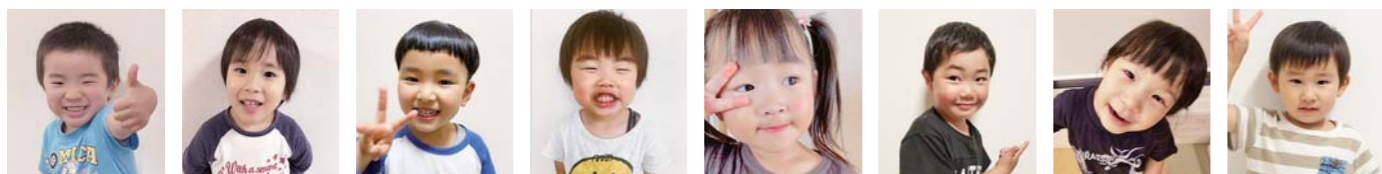


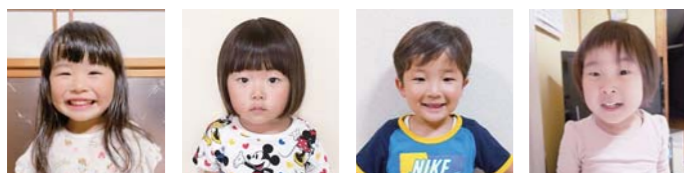
3歳6カ月健診でむし歯のなかった子どもたち



赤間 太一くん (迫町立戸) 及川 夏生くん (迫町萩洗) 佐藤 一平くん (迫町萩洗) 菅原 聖和くん (迫町光ヶ丘東) 菅原 虹来瑠ちゃん (迫町江合) 鈴木 陽太くん (迫町東表) 二瓶 紬ちゃん (迫町横丁) 米倉 優陽くん (迫町平柳)



木村 湊くん (登米町蛭沢) 渡辺 桔平くん (中田町八幡山) 相沢 優芽ちゃん (豊里町加々巻) 阿部 夢叶くん (豊里町白鳥) 今井 穂香ちゃん (豊里町鵜渡) 小林 寛太くん (豊里町浦軒) 三浦 華麗ちゃん (豊里町加々巻) 加藤 愛菜ちゃん (米山町城内)



比毛 彩愛ちゃん (米山町新田) 及川 望結ちゃん (南方町大袋) 佐々木 凱士くん (南方町北本郷) 星 花笑ちゃん (南方町吉野谷地下)



吉田 瑠璃ちゃん (南方町北本郷) 渡部 ひなのちゃん (南方町一ノ曲)

6月中に応募があった子どもたちを掲載しています

歯の健康づくり 大切な乳歯を健やかに

乳歯は、永久歯が正しい位置に生えるための案内役です。乳歯の奥では永久歯が成長しているため、乳歯の虫歯は永久歯にも影響します。

【仕上げ磨き】子どもは1人では歯をきれいに磨けません。大人の手助けで歯の健康が守られます。

【早期発見】虫歯は初期の段階であれば健康な状態に回復させることもできます。仕上げ磨きの際は、歯の表面が白っぽくないか、歯の溝が茶色になっていないか状態の観察を。

【問い合わせ】市民生活部健康推進課(地域保健係) ☎0220(58)2116

一般向け

子ども向け

PICKUP_04 「美しい和菓子の図鑑」



青木 直己/監修

季節の行事、歴史上の人物や文豪などにまつわる和菓子を、イラストや写真とともに紹介。和菓子に秘められた謎と人々の思いを解き明かします。

PICKUP_05 ターシャ・テューダー 「人生の楽しみ方」



食野 雅子/著

農業に憧れ、生涯、自給自足のシンプルライフを全うした絵本作家ターシャ・テューダー。どんな境遇でもそこに楽しみを見つける豊かな生き方を紹介します。

PICKUP_06 「終活の準備はお済みですか？」



桂 望実/著

突然のがん宣告、70歳で貯金ゼロなど人生の終わりに直面した人々のそれぞれの終活。終活サロンに集う老若男女の切なく心に響く物語です。

PICKUP_01 「SDGsなぜなにクイズ図鑑」



菅谷 秀光/監修

未来のために、今できることから始めてみよう。SDGsについて45のクイズで楽しく学び、毎日の暮らしの中で自分たちに何ができるかを考えます。

PICKUP_02 「池の水なぜぬくの？」 外来種を探すだけではない"ほんとうの理由"



安斉 俊/著・絵、亀田龍吉/写真

池の水抜きは、外来種を見つけることだけが目的ではなく、池の生き物を守るための科学的な取り組みです。神奈川県にある池の水抜きの様子を紹介しします。

PICKUP_03 「モルモットのちゃもとけだまーず」



なかや みわ/作

「ちゃも」はモルやまへの橋を怖くて渡ることができません。そんな「ちゃも」のもとに「けだまーず」が現れ外の世界へ。小さな世界の大きな冒険を描きます。

続々新刊が入荷。詳しくは市公式ホームページで

Library Topics

みんなの図書館

利用者の声や図書館のイベントなどをお知らせします

特別な1冊に出会えます

全国学校図書館協議会では、毎年「青少年読書感想文全国コンクール」を実施しています。

感想文を書くために、どのような本を読んだら良いか悩んだときは図書館(室)にお越しく下さい。市内の図書館(室)では、コンクールの課題図書を取り揃えています。

また、その他小中高生の皆さんに読んでほしい実話を元にした物語や伝記、読むと元気になる話などさまざまなジャンルの本を用意しています。

感想文の書き方や観察のまとめ方など、知っているけど勉強がはかどりそうな本も取り揃えていますので、探している本などがあれば問い合わせください。



- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜、祝日、年末年始など(中田図書室は祝日も開室)
※その他、館内整理など不定期での休館もありますので問い合わせください
- 問い合わせ 迫図書館 ☎0220(22)9820
登米図書館 ☎0220(52)5330
中田図書室 ☎0220(34)8081



後藤 テルコさん

中田町で生まれ18歳で結婚したテルコさんは、5人の子宝に恵まれ、田んぼや畑仕事など忙しく過ごしました。
現在は特別養護老人ホームに入所。会にきた家族との会話や家で栽培しているリンゴの出来栄えが何より楽しみです。家族は「苦労をかけたね、これからも長生きしてね」と話していました。

大正10年6月25日生まれ (豊里町・庚申)



高橋 みつよさん

中田町出身のみつよさんは、25歳で結婚。朝早くから自転車ですり野菜を売りに行くなど、農業にいきしみながら2人の子を育て上げました。
甘いお菓子が好きなみつよさん。好物のようかんや団子を食べながらお茶飲みすることや、孫やひ孫が遊びに来ることを楽しみに、穏やかに過ごしています。

大正10年6月27日生まれ (登米町・岡谷地)

いつまでもお元気で

おめでとうございます
祝100歳



佐々木 正記さん

登米町で生まれ育った正記さんは、23歳で結婚し農業一筋の日々を過ごしました。
一番の思い出は「孫2人と鳴子にダムを見に行ったこと」と話す正記さん。長寿の秘訣は、自分の好きなことは我慢しないこと。孫の三三さんは「特養の人たちと仲良く過ごし、これからは長生きしてほしい」と話していました。

大正10年6月13日生まれ (登米町・光風園)